【事例】管理職等による指導・支援

臼杵市立野津中学校

所定時間外勤務を減らすための環境整備

※全ての業務の見直し。
小さくても減らす前提で。

1．業務の精選・厳選を推進するための点検調査

大分類	中文類	小分類	カットできる ◎・○・△・×	コメント
学校生活	健康安全	登校指導		
学校生活	健康安全	体調チェック		
学校生活	補充	朝自習		
学校生活	健康安全	給食指導		
学校生活	健康安全	清掃指導		
学校生活	特活	部活動		
学校生活	その他	毎日ノー		
教科	授業	教材研究		
教科	授業	ワークシート作成		

①業務の調査

チェック表は管理職が作成。教職員はカットできるかについて◎〇△×の記載のみ行う。

②集約・整理

大分類	中文類	小分類	カットできる ◎・○・△・×	
教科	授業	教材研究	×	・学校時間内でできるところまでと考える。
教科	授業	ワークシート作成	△	・副教材〇〇ノートを活用するか、どちらかにする。 ・ノートの活用にしている。 →1人1台端末活用も視野に
教科	授業・評価	振返り等集約	×	→1人1台端末活用も視野に
教科	授業・評価	小テスト採点	△	・自己採点する。 ・授業内で行う。 →1人1台端末活用も視野に
教科	授業	副教材点検		・4月当初に購入時期に熟慮が必要。 ・長期
教科	補充	Bノート	英語と国語で協議	・なくすか、2教科で交互にする。 ・学習サポーターか
教科	補充	漢字ノート	英語と国語で協議	・なくすか、2教科で交互にする。 ・学習サポーターがいれば依頼す
教科	補充	臼杵チャレンジ	実施継続 校時表で検討	・朝自習でする(2)。 ・なくせるならなくす。 ・生徒と話し合う。 依頼する。 ・授業内で対策をする。 ・朝自習との兼合い
教科	テスト・評価	テスト作成		・回数を検討する。 ・定期、課題それぞれのあり方
教科	テスト	テスト成績処理	協議	・PCで閲覧できるので職員配布はなくす。
進路対策	補充	新研究・整対テスト	協議	・必要なし(2) ・保護者承認の上はじめたのでやるべき。 ・学年で導入だが、採点は教科担任の現状
進路対策	補充	校内模試	教育課程 評価(テスト)計画	・資料として必要なので、回数の検討。 ・当初の計画が大事。 →特に2年3学期以降は、各種調査、学力診断2回、定期テスト
その他	来客・電話	来客対応	現行通り	・原則、事務職員・〇〇が受け→教頭・担当へつなぐ

③協議

集約したデータを管理職が整理する。業務改善の視点を踏まえ管理職等で協議しコメントを記載する。

④共有から実践へ

研修や職員会議等で具体的に業務の在り方を見直す。

業務改善の視点

- 教師の役割
- 優先順位
- 注力すべき事
- 断捨離
- 取捨選択
- 再構築
- 整理統合
- 不易と流行　等

主な具体的取組

生徒の登校時間

～7時から8時→7時30分～

- 30分短縮

朝の体温チェック

～モニター検温機導入～

- 教員3人対応を1人対応とする。

部活動指導

～２人顧問体制～
（外部顧問・校長教頭も含む）

- 平日、土日も含めて、交代で指導。
- 終了時間の再考（日没時間を根拠に設定）。

勤務時間内の環境整備

～個の業務時間確保～

- 会議時間確保のため、水曜は清掃カット。
- 指導や作業の人数設定。
- 電話対応の固定化。等